

保育計画成果報告書

法人名等	地域活性株式会社
施設名	きらり保育園多賀城
報告者（役職）	赤間 彩華（副主任）
住所・連絡先	宮城県多賀城市新田字後 8-2
	☎ 022-253-6601
	E-mail tagajo@kirari-hoiku.com

○タイトル（保育計画）

☆乳幼児の園内知育テーマパーク☆

○主な助成備品

ハイハイのみち、つかまり立ちサークル、ソフト滑り台、ままごとセット
絵本紙芝居 他

1. 保育計画策定の目的

きらり保育園多賀城は、政令指定都市である宮城県仙台市に隣接した住宅街にあり、コンビニエンスストアの跡地に設置された小規模保育施設です。駐車場は広くても園庭はありません。

世界に通用する人材を…という事で、様々な段階で教育の見直しがされ、一番の基礎になる乳幼児期の時点で自由に遊ばせ自主性を育む事はもちろんですが、その中で長期的な視点をもって保育にあたる事が重要ではないかと考えます。

「一定の広さがあれば園庭がなくても室内環境を工夫していける」というテーマと目標を掲げ取り組んできました。

2. 具体的な実施内容

☆ハイハイのみち・つかまり立ちサークル・ソフト滑り台

子どもたちが自由に遊べるよう保育室の各所にハイハイのみちやソフト滑り台を設置しました。サークル内で好きな遊びが楽しめるよう、カラーボールや玩具も側に準備しました。

雨などで戶外遊びができない時は、組み合わせサーキットとして活用しました。



☆大型絵本・紙芝居・絵本セット

朝の集まり、帰りの会の後など保育士に読んでもらったり、大型絵本は行事の際の読み聞かせにも活用しました。



☆ままごとセット

ままごと遊びの展開が広がるよう保育室にキッチンやテーブルを設置し、十分な数のままごとを用意しました。また、ままごと遊びだけではなく活動の中でも実際に容器や道具としても使用しました。



3. その成果と評価

☆ハイハイのみち・つかまり立ちサークル・ソフト滑り台

0歳児は坂道・段差などを手から降りようとしていましたが、保育士が補助をして足から降りるよう促すと徐々に足から降りられるようになり、段差でも泣くことなく昇り降り

する姿が見られるようになり、ハイハイのみちで段差に慣れると、つかまり立ちサークルの高い段差もスムーズに乗り越えることができるようになりました。また、サークル内にカラーボールを入れてボールプールとして遊んだり、好きな玩具を持ってきて自分だけの空間として遊ぶ姿も見られるなど室内遊びがより充実したものとなりました。



☆大型絵本、紙芝居・絵本セット

絵本や紙芝居に触れる機会が増え、集まりの前には子どもたちから「あおむし」「ねこさん」など読んでほしい絵本のリクエストの声が多く聞かれるようになりました。また、お気に入りの絵本に出てくるキャラクターに親しみを感じ、見つけると友だちや保育士に知らせる姿が多く見られました。普段、目にしていたサイズの絵本から大型絵本になったことにより、子どもたちの反応も大きくなり「わあ!」「おっきい!」など友だちと喜ぶ姿も増えました。

☆ままごとセット

今まで園で使用していたままごとは食器類が少なく遊び方がいつも同じようになってしまふことが多かったのですが、ままごとセットが充実したことにより鍋やフライパンなどで料理をする姿も増えました。また、キッチンやテーブルがあることで遊びの幅も広がり、ごっこ遊びにも繋がっていきました。

活動の中でも容器や道具として実際に使うことで、使い方を知り活動がより深いものへと繋げることができました。

4. 今後の課題と展望

購入後には様々な遊びをしていましたが、少しずつ遊びが単調になることが増えてきました。環境に慣れ、遊びがいつも同じになってしまうことのないよう配慮していきたいと思ひます。子どもたちは遊びを通して主体性や頑張る力などの“非認知的能力”が育っていくことから、保育環境づくりを職員が一丸となって行ひ、生活の中でたくさんの刺激を受け遊びの幅を広げることで土台をしっかりと固め、次のステップへと進んでいって欲しいと考えています。

以上